

## お出かけください 文化施設巡り 15

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。

# 下級武士(足軽)の暮らしを伝える長屋家敷 出石武家長屋資料館



- 所在地 豊岡市出石町松枝159
- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 毎週月～金曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
- 入館料 大人100円、高校・大学生80円、小中学生 無料



▲教育委員会出石分室の清水由紀子のご案内します。

出石武家長屋資料館は、下級武士(足軽)の住居で、慶応2年(1866年)2月4日にこの付近であった大火の直後に建てられました。出石藩の城下町は上級武士を城の近くに、下級武士は城下町を囲むように配置されており、江戸時代の城下図によるとこの辺りには、「御足軽」と書かれた武士の住居と「かじ屋」「大工」などの町人の住いが混在していました。

瓦屋根の建物ばかりになったこの城下町の中で、茅葺屋根のこの建物は、以前の町屋の多くが茅葺であったことを伝える貴重なものです。内部の間取りは当初のままで、道に面した2室には格子窓がつき、上手の部屋を座敷とし、床と棚を設けています。下手奥の板敷きの間には<sup>かまど</sup>囲炉裏があり、日常の生活空間とみられます。下級ながらも日常の部屋と接客用の部屋を明確に区別している点は、武家のたたずまいの特徴と言えます。



### ▲座敷

接客に使われた部屋には、質素ながらも床の間や袋戸棚があり、武家の住宅らしい造りになっています。



### ▲囲炉裏の間

囲炉裏があり、周りは板間になっています。家族が生活する部屋で、畳は敷かれていません。



### ▲土間

旧家にあった昔の道具を展示しています。小学生たちも昔の暮らしの学習に訪れます。



### ▲風呂場

風呂桶の端に桶を仕込み、炭を入れた金属製の容器を入れてお湯を沸かす昔ながらの風呂場となっています。



### ▲展示品

旧家の食生活の様子を塗りの食器や膳、おひつ、酒器などで紹介しています。



### ▲横額

江戸末期に豊岡に生まれ、明治政府で文部大臣を勤めた久保田 謙の書です。